

スクールソーシャルワーカー（SSW）とは

SSWは、社会福祉の専門知識・技術を活用し、さまざまな困りごとを抱えた児童・生徒や家族を支えるための専門職です。

子ども本人の気持ちを尊重しつつ、抱えている悩みや課題の解決に向け、家庭や学校・地域の関係機関と協力、連携しながら児童・生徒を取り巻く環境に働きかけます。

SSWが大切にしていること

- ・子どもの利益を第一に考えます
- ・子どもと一緒に問題解決に取り組みます
- ・子どもの可能性に目をむけます
- ・子どもの自己決定を尊重します
- ・子どもの思いやニーズを関係者に伝えます
- ・必要な時には学校など関係機関と連携します



武蔵野市のSSW

- ・教育委員会教育支援センターの職員で、社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持ち、教育支援課を拠点に活動しています
- ・現在6名のSSWが担当しています（中学校区に1名ずつ配置）
- ・定期的に市立小・中学校を訪問しています
- ・不登校の総合相談窓口の役割があります

相談対象者

- ・武蔵野市在住の小・中学生、および保護者など



どんなことを相談できるの？

- 学校のこと
不登校・登校しぶり、いじめ、クラスや集団になじめないなど
- 家庭のこと
経済的な事情がある、家族との関係に悩んでいるなど
- 子ども本人のこと
友だちとのトラブルが多い、生活リズムが乱れているなど



相談するとどんなことをしてくれるの？

- ・学校や関係機関などとの橋渡しをします
- ・必要に応じて家庭訪問をし、子どもとお話をしたり一緒に遊ぶ（活動）ことを通して子どもと関係を作ります
- ・学校以外に安心して過ごせる居場所を一緒に探します
- ・子どもや家庭に必要な情報をお伝えします
- ・子どもの気持ちを尊重し、本人の希望があれば周りの人にその気持ちを伝えます

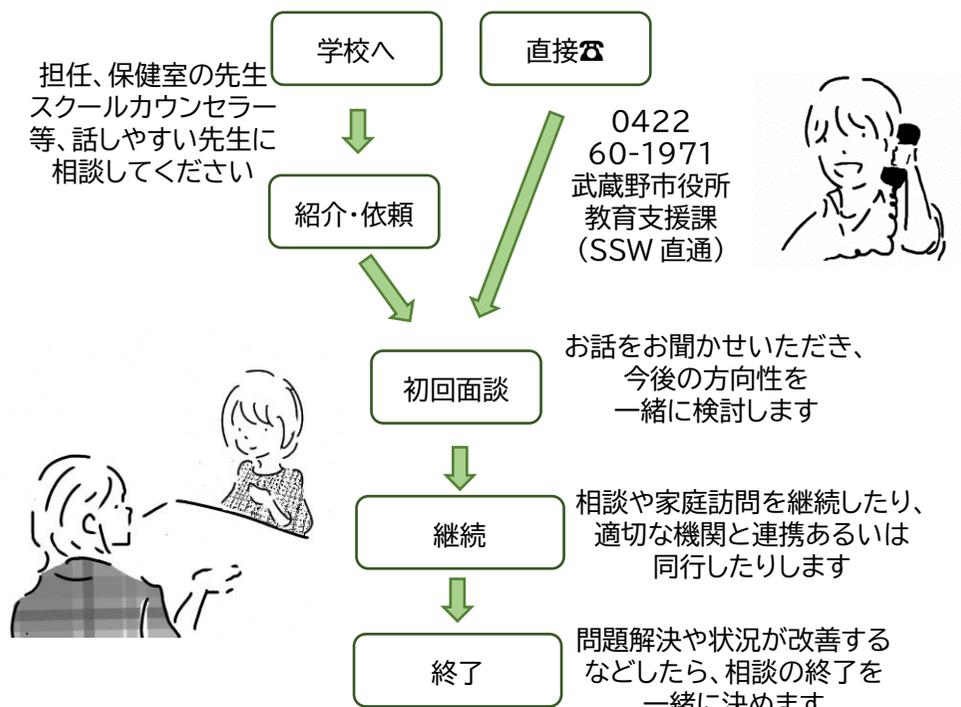
《具体例》

母と二人暮らしの中学3年生。不登校で学力に自信がなく、高校進学に消極的。心配した学校が母子にSSWを紹介した。

SSWは家庭訪問を重ね、本人との関係を築くことから始めた。本人は「高校に行きたい」と自分の気持ちを伝えてくれるようになった。市の学習支援制度を紹介、本人が利用を決め少しずつ勉学に励むようになった。希望の高校の見学や説明会と一緒に行き、高校進学に関する費用についても相談にのった。本人が頑張り、希望の高校に進学した。



SSWの相談の流れ



ささえる つながる よりそう
スクールソーシャルワーカー
(SSW)のご案内

武蔵野市教育委員会 教育支援センター

場 所 武蔵野市役所 5F 教育支援課
武蔵野市緑町2-2-28
電 話 0422-60-1971(SSW直通)
受付時間 9:00~17:00
月~金曜日(祝日・年末年始を除く)

